



平成 27 年 4 月 8 日

各 位

会社名 株式会社 京葉銀行
代表者名 取締役頭取 小島 信夫
(コード番号 8544 東証第一部)
問合せ先 経営企画部長 藤崎 一男
(TEL. 043-222-2121)

第 17 次中期経営計画「 α ACTION PLAN 2018」の策定について

株式会社京葉銀行（頭取 小島信夫）は、平成 27 年 4 月より平成 30 年 3 月までの 3 年間を計画期間とする“第 17 次中期経営計画「 α ACTION PLAN 2018」”をスタートさせましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 名称

第17次中期経営計画「 α ACTION PLAN 2018」
～ 持続的成長へ向けた「変革と実行」～

2. 計画期間

3年間（平成27年度～平成29年度）

3. 目指す銀行像について

「お客さまに信頼と利便性、高い満足度を提供する魅力のある、活力あふれる銀行」

4. 環境認識と計画のねらい

千葉県は魅力のあるマーケット

➤京葉銀行の営業基盤である千葉県は、全国有数の経済規模に加えて、農漁業・工業・商業と多様な産業が集積するマーケットであります。さらには、2020年の東京五輪・パラリンピックの開催に向けて、交通インフラの整備も急ピッチで進んでおり、訪日観光客の増加も期待されています。10年後の人口も約600万人を維持する見込みであり、将来にわたって非常に魅力のある市場と認識しております。

地域活性化への主導的役割

➤こうした環境を踏まえ、新中期経営計画は、6年後の平成32年度を展望し、策定しています。前半の3年間を「変革と実行」のステージ、後半の3年間を「さらなる飛躍」のステージと位置付け、少子高齢化や人口減少、グローバル化の進展など、社会構造の大きな変化に対応しつつ、地域活性化への主導的役割を果たしていくことで千葉県の魅力を十分に引き出し、ともに成長、発展を遂げてまいります。

5. 3つの経営課題

経営課題Ⅰ. 地域活性化への積極的な貢献	
地域金融機関として地域経済への貢献を最重要課題に位置付けました。地域の課題解決はもとより、法個人のお客さまのライフステージに応じたサポートの充実に向けて、主体的な役割を果たしていきます。	
①法人戦略	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地方創生推進への積極的な参画 ■ 事業性評価を重視した資金需要の創造
②個人戦略	<ul style="list-style-type: none"> ■ 商品性、利便性の向上を通じた個人ローンの増強 ■ 個人預金の吸収強化と資産運用提案の充実
経営課題Ⅱ. 将来を見据えた経営基盤の構築	
持続的成長には、将来の金融環境の変化に迅速かつ柔軟に対応できる経営基盤の構築は欠かせません。これからもお客さまへ選ばれ続ける銀行を目指し、中長期的な視点に立った戦略的投資を継続していきます。	
①チャネル戦略	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安全・便利・快適「3つのバリュー」に基づく店舗づくり ■ オムニチャネル化への挑戦
②IT戦略	<ul style="list-style-type: none"> ■ 次世代勘定系システムの開発
③人財戦略	<ul style="list-style-type: none"> ■ 女性行員の活躍推進 ■ ダイバーシティ・ワークライフバランスの促進
経営課題Ⅲ. 経営管理態勢の高度化	
収益力向上への諸施策を着実に進めていくためには、実効性のある経営管理態勢の構築が必要不可欠です。コーポレート・ガバナンスの強化を通じて、全てのステークホルダーから信頼される銀行を目指します。	
①有価証券運用	<ul style="list-style-type: none"> ■ 流動性を確保した運用方針の継続と運用態勢の高度化
②リスク管理態勢	<ul style="list-style-type: none"> ■ リスクマネジメントの強化による経営の健全性確保
③ローコストオペレーション	<ul style="list-style-type: none"> ■ 聖域なき業務効率化の促進とコストマネジメントの高度化
④資本政策	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安定配当の継続と積極的な情報開示
⑤CSR	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域社会とのきずなを意識したCSR経営

6. 本中期経営計画の3年間で目標とする経営指標及び6年後のビジョン

項目	平成30年3月期(3年後)	平成33年3月期(6年後)
預金残高	4.4兆円程度	5兆円程度
貸出金残高	3.4兆円程度	4兆円程度
当期純利益	160億円	
自己資本比率	12%程度	
OHR	60%未満	

【本件に関する問い合わせ先】
 経営企画部 経営企画グループ 藤崎・清水
 TEL 043-222-2160

以上



第17次中期経営計画

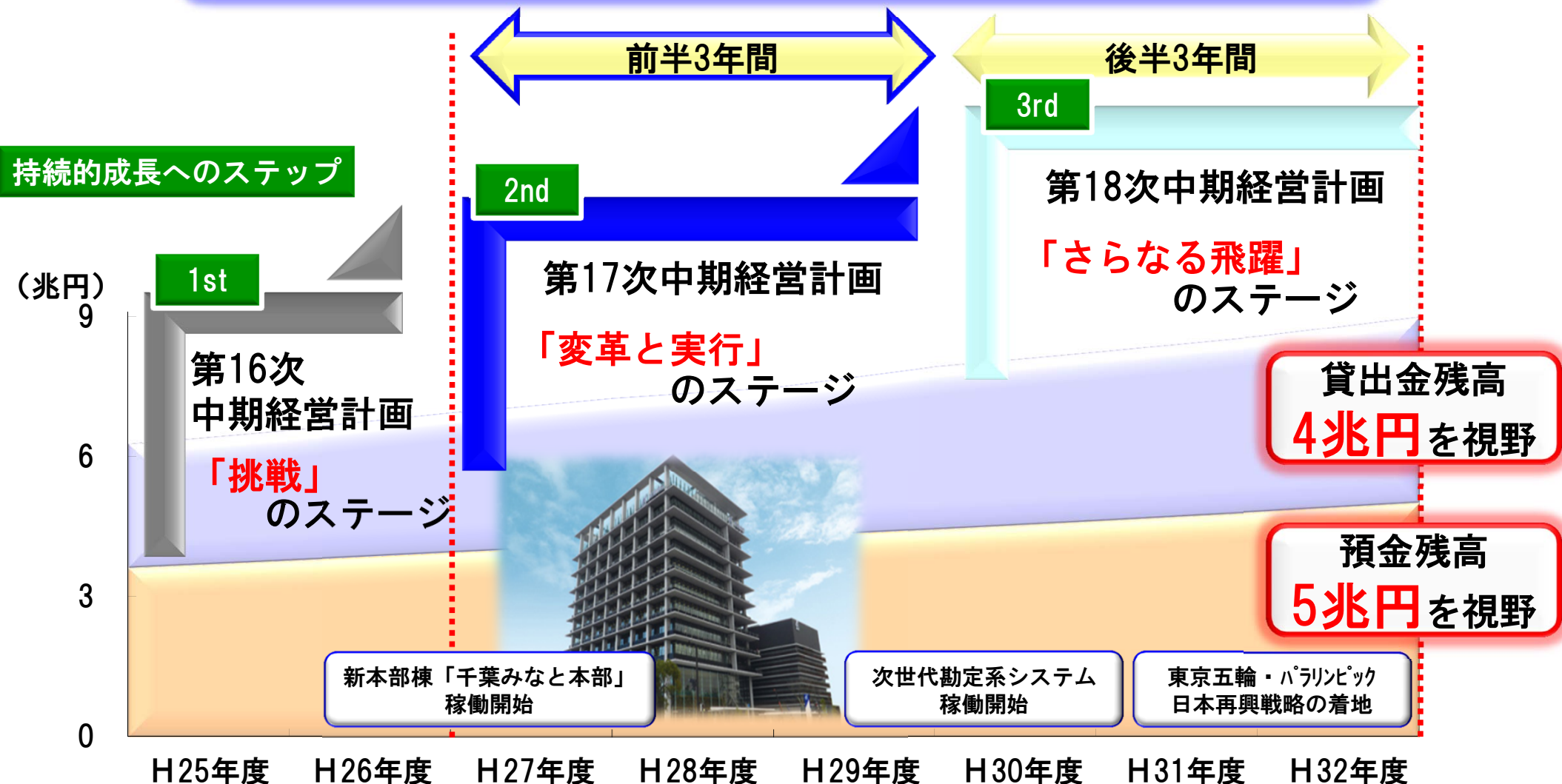
α ACTION PLAN 2018

持続的成長へ向けた「変革と実行」

確かな“きずな”を、未来へ。
株式会社京葉銀行

長期ビジョン

6年後の平成32年度を展望



計画の概要

名称	第17次中期経営計画 α ACTION PLAN 2018 持続的成長へ向けた「変革と実行」				
期間	3年間（平成27年度～平成29年度）				
目指す銀行像	お客さまに信頼と利便性、高い満足度を提供する 魅力のある、活力あふれる銀行				
3つの経営課題	I. 地域活性化への積極的な貢献 II. 将来を見据えた経営基盤の構築 III. 経営管理態勢の高度化				
計数目標	当期純利益 160億円	自己資本比率 12%程度	OHR 60%未満	預金残高 4.4兆円程度	貸出金残高 3.4兆円程度